



代議員発言要旨

【国大教連・竹中真治代議員】

緊急経済対策で209億円が京大に。さらに、運営交付金でこれまでになかった不要な支出を告発していく。非正規労働者が7割になり、事務部門で半分が非正規に。メ...

【西右京・辻川正雄代議員】

ユニオンひまわり100人超える組織に。4人の青年が新たに加入。正規も非正規もつらい状況が続いている。単産の力があってこの地域組織。単産を強くしていくこと...

【丹波連・近江裕之代議員】

Xバンドリーダー基地反対闘争、立て看板3枚を立てている。10・4集会の会場確保ができた。成功へ協力。【舞鶴・瀬尾純爾代議員】10・4集会にはマイクロバ...

【綾宮・田村静夫代議員】

京建労・年金者組合・地域ユニオンが増やしている。興味関心をつかんで楽しい取り組みを。地域ユニオン月に1回顔をあわせ、現在30人。首切りや労災など、きっかけは多彩。学童指導員問題は京田辺市相手に取り組み中。

【京建労・酒井仁代議員】

8月豪雨災害対策では、ボランティアとカンパに取り組み市長へ届けた。各自治体からも200人も支援が。減員が続く自治体労働者の役割を問いただす。政治主導で人勤、地域の経済もダメにする賃金削減を許さない闘争へ共同して。

【京建労・中久保弘志代議員】

子どもが「勉強したら戦争行かなくていいか？」と。戦争する国づくり、全員が反対と子どもが言う。戦争が現実問題に。安倍教育再生とたたかう。全教職員を視野に組織拡大。青年が自身の言葉で増やす。教え子を再び戦場に送ら...

【女性部・榎本知子特別代議員】

労働者の地域での役割発揮。青年建設労働者が少なく、労働単価の引き上げを行き渡らせることが必要。地域建設業者とともに、「地域の建設業と地域を守れ」の合意づくりをする。

【医療連・松本隆浩代議員】

過労死寸前・6割が辞めた。倒れそうとのアンケート。社会保障改悪は「負担増」と一儲けの対象として海外へをねらう。実態を提起して保守とも共同していく「暮らしと命は待たない」の思い。

【国労京滋・松尾修代議員】

要員不足で精神的にも追いつめられる状況。新規採用者へ国労はずが厳しい。正しいと思う一人では入れないとも。昇進でも差別される。25日にはJALキヤラバン。発言を聞いて、だからこそ踏ん張る必要を感じた。

【郵政産業労働者ユニオン・西垣光男代議員】

非正規4割で仕事は同じ。不合理な差別に手当を求める裁判を提訴。19万人に影響する。非正規差別は許さない。限定正社...

【京建労・永井友昭代議員】

特定秘密法の集会和デモ、廃棄を求めて署名にも取り組んできた。格差是正でも奮闘し、派遣切りをやめさせ、雇用をつないできた。賃金闘争では、ベア、一時金も連続して前進している。構内最賃引上げも実現、初任給も改善。

【豊後連・杉田栄代議員】

「消費増税で年金カットと暴走政治に抗議して各地で大行動を展開。街頭宣伝で高...

【特別決議】

戦争する国への反対、安倍政権の即時退陣を求める決議。安倍政権は憲法の解釈を閣議決定で変更し、憲法9条の平和原則をふみにじり、戦争体制づくりのための法改正を急いで進めている。日本が攻撃されない限り、アメリカなどの仕掛けた戦争に、地球の裏側にまで参加するというのが集団的自衛権の発動である。文字通り、憲法が認めない武力行使のことであり、戦争の痛苦の反省から生まれた憲法をふみにじるクーデターの暴走です。そして、安倍政権は、秘密保護法の施行、軍拡予算増やなど、戦争体制づくりを強めています。

【文書発言】

【福祉保育労・澤井憲子代議員】 公的責任にもとづく権利と争議の勝利へ。供託されて...

【丹波連・永井友昭代議員】

Xバンドリーダー基地反対の地元のたたかいを報告。10・4集会の成功へ参加を呼びかけ。

【福知山・金澤栄子代議員】

豪雨災害支援のお礼。安心して暮らして仕事ができる環境づくりをすすめる。地域の全労働者のセンターとしての役割を果たす。福知山の労働団体の労働法制反対集会を開催する。

【京建労・巽肇代議員】

広がるアスベスト被害、裁判闘争も重要な局面。建設アスベスト京都訴訟に協力の呼びかけ。

【特別決議】

安倍内閣は、成長戦略の主要課題として、労働者派遣法の大改悪、残業代ゼロ、解雇の金銭解決など働くルール破壊を強行しようとしており、規制緩和と構造改革による犠牲が労働者・国民に押しつけられています。こうした中で、労働組合つらや労働者の権利破壊をねらう国や経営者とのたたかいは、大きな社会的意義をもつものとなっています。生活の糧を奪う不当な解雇・雇止めをなくし、全雇員正社員不当解雇撤回闘争、JAL不当解雇撤回闘争、京都労働争議、全自治連大黒印刷解雇撤回闘争、建交労・全国一般クレオタク雇止め撤回闘争の勝利・解決をめぐって、たたかう仲間を励まし、全力をあげて闘争をすすめてください。不当労働行為救済のたたかい、賃金差別反対闘争、賃上げ無効を求める裁判闘争など、すべての裁判の勝利・争議の早期解決をめざして力を合わせることが求められています。労働者のいのちと健康を守る裁判闘争は、「ブラック企業」など、ルールなき働き方の押し付けが社会問題化する中で、ますます重要となっていきます。建設アスベスト京都訴訟は、労働者の被害の救済にとまらず、アスベスト被害が、生産・使用された場に居合わせた人々に曝露の恐れが広がる新たな国民的課題となっており、国とメーカーの社会的責任を問うたたかいは、国民的・金労働者の、層層重要を増えています。大企業・財界のいさげを最優先にし、労働者・国民の政治がめめられる安倍政権の下で、社会的矛盾の最先端が労働争議、労災・職業病のたたかいであり、その勝利は大変重要です。争議の勝利が労働組合の団結を固くし、運動の前進につながって来た経験を踏まえて、11月30日の「第3回京都訴訟・交流まつり」を成功させ、労働争議・裁判闘争の勝利・解決をめざして、すべての労働者・労働組合の力を合わせて奮闘しようではありませんか。以上、決議します。

【全損保・仁谷元代議員】

3大メカ損保による専占化。保険料の高騰と保険会社・保険商品の選択の自由を奪う状況。労働者には成果・能力給の導入と早期退職へ追い込み。業界まるごとプラットフォーム状態。社会的正義という心の勇氣も必要な仕事で、知識集約産業、法律や商業上のルールに通じる必要など、経営の認識は欠如。全損保の中核支部の目新火災に経営の手が入り脱退。さらなる合理化を狙う。組織も大阪拠点を維持できない。損保の仲間が細い糸であっても会社を超えて集まり自由にならざることを言い捨てて暮らして仕事ができる環境づくりをすすめる。地域の全労働者のセンターとしての役割を果たす。福知山の労働団体の労働法制反対集会を開催する。

京都総評新役員

Table with 2 columns: Position (e.g., 議長, 副議長, 事務局長) and Name (e.g., 吉岡池田, 徹豊, 正美, etc.).

退任された方々

Table with 2 columns: Position (e.g., 副議長, 常任幹事) and Name (e.g., 佐々木真成, 辻昌秀, 小林長俊, etc.).

来賓あいさつ

京都総評第79回定期大会に次の方々にご挨拶をいただきました。全労連 小田川義和議長、全労協 中岡基明事務局長、日本共産党京都府委員会 井上哲士参議院議員、新社会党京都府本部 駒井高之書記長、自由法曹団京都支部 中村和雄幹事長。また、大会には、京都労働局・森川善樹局長、京都府商工労働観光部岡本圭司部長、京都市門川大作市長をはじめたくさんの方々をいただきました。



京建労・永井友昭代議員の挨拶の様子。

【特別決議】 戦争する国への反対、安倍政権の即時退陣を求める決議。安倍政権は憲法の解釈を閣議決定で変更し、憲法9条の平和原則をふみにじり、戦争体制づくりのための法改正を急いで進めている。日本が攻撃されない限り、アメリカなどの仕掛けた戦争に、地球の裏側にまで参加するというのが集団的自衛権の発動である。文字通り、憲法が認めない武力行使のことであり、戦争の痛苦の反省から生まれた憲法をふみにじるクーデターの暴走です。そして、安倍政権は、秘密保護法の施行、軍拡予算増やなど、戦争体制づくりを強めています。また、沖繩への負担を軽減することを口実に、沖繩辺野古への新基地建設、全国各地への米軍基地と訓練の拡散そして京都では丹波半島の米軍Xバンドリーダー基地など、日米軍事同盟体制の拡大がねらわれており、各地で激しいたたかいは続いています。住民過半数の反対署名で政府に迫る京丹波では、基地を受け入れた京都府知事や京丹波市長との矛盾がますます深まり10月4日に現地集会を迎えます。そして、沖繩では基地建設を許さない声が多数世論となっており、沖繩県知事選を迎えるようになっています。戦争する国は、若者が殺し殺される武力行使に巻き込まれるのみならず、多くの労働者が戦争体制に駆り立てられます。また、テロを誘発し、止めどない殺し合いの連鎖へ日本を導きます。この道をすすむわけにはいきません。私たちが労働者は、戦争のために、仕事やいのちを差し出すことを断固として拒否します。私たちの仲間や若者が、戦争に動員される国づくりを許しません。いま、かつての雇われ、立場を超えた多くの人々が戦争反対と声をあげています。世論は改悪反対・平和憲法を守れが多数です。集団的自衛権容認を打ち出した国へ、安倍政権の支持率は下がりはじめています。私たちが、戦争する国への反対に反対します。そして、大会の名で安倍政権の即時退陣を要求します。戦争する国への反対、安倍政権打倒の大運動をすすめます。職場・地域の根から、戦争する国づくり反対、安倍政権打倒の大運動をすすめます。歴史的にたたかいて、総決起を呼びかけるものです。以上、決議します。

2014年9月7日 京都地方労働組合総評議会 第79回定期大会

【特別決議】 安倍内閣は、成長戦略の主要課題として、労働者派遣法の大改悪、残業代ゼロ、解雇の金銭解決など働くルール破壊を強行しようとしており、規制緩和と構造改革による犠牲が労働者・国民に押しつけられています。こうした中で、労働組合つらや労働者の権利破壊をねらう国や経営者とのたたかいは、大きな社会的意義をもつものとなっています。生活の糧を奪う不当な解雇・雇止めをなくし、全雇員正社員不当解雇撤回闘争、JAL不当解雇撤回闘争、京都労働争議、全自治連大黒印刷解雇撤回闘争、建交労・全国一般クレオタク雇止め撤回闘争の勝利・解決をめぐって、たたかう仲間を励まし、全力をあげて闘争をすすめてください。不当労働行為救済のたたかい、賃金差別反対闘争、賃上げ無効を求める裁判闘争など、すべての裁判の勝利・争議の早期解決をめざして力を合わせることが求められています。労働者のいのちと健康を守る裁判闘争は、「ブラック企業」など、ルールなき働き方の押し付けが社会問題化する中で、ますます重要となっていきます。建設アスベスト京都訴訟は、労働者の被害の救済にとまらず、アスベスト被害が、生産・使用された場に居合わせた人々に曝露の恐れが広がる新たな国民的課題となっており、国とメーカーの社会的責任を問うたたかいは、国民的・金労働者の、層層重要を増えています。大企業・財界のいさげを最優先にし、労働者・国民の政治がめめられる安倍政権の下で、社会的矛盾の最先端が労働争議、労災・職業病のたたかいであり、その勝利は大変重要です。争議の勝利が労働組合の団結を固くし、運動の前進につながって来た経験を踏まえて、11月30日の「第3回京都訴訟・交流まつり」を成功させ、労働争議・裁判闘争の勝利・解決をめざして、すべての労働者・労働組合の力を合わせて奮闘しようではありませんか。以上、決議します。

2014年9月7日 京都地方労働組合総評議会 第79回定期大会